

会 議 録【要点筆記】

会 議 の 名 称	第5回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議
開 催 日 時	令和6年12月24日（火） 午前10時00分開会 正午閉会
開 催 場 所	登米市役所 南方庁舎2階 大会議室
議 長（会 長）の 氏 名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者（委員）の 氏 名	学校法人東北工業大学 教授 大沼 正寛 公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 宮城県社会教育協会登米支部 顧問 高橋 弘一【副会長】 登米地域商工会連絡協議会 幹事 熊谷 敏明 登米市産業振興会 副会長 伊藤 秀雄 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 穴戸 敬吾 登米市コミュニティ推進連絡協議会 理事 岩渕 浩 特定非営利活動法人とめタウンネット とめ女性支援センター長兼プロジェクトマネージャー 足立 千佳子 以上8名
欠席者（委員）の 氏 名	一般社団法人宮城県経営者協会登米支部 副支部長 及川 勝一郎 株式会社ミヤコーバス佐沼営業所 所長 橘 正二 一般社団法人とめ青年会議所 2024年直前理事長 杉山 孝俊 特定非営利活動法人奏海の杜 代表理事 太齋 京子
事務局職員職氏名	【事務局】 総務部政策推進局長 小野寺 憲司 建設部住宅都市整備課長 佐々木 昭彦 総務部政策推進室 室長補佐兼政策マネジメント係長 佐藤 浩二 総務部政策推進室 主査 星 友人 総務部政策推進室 主事 高橋 昂平 総務部政策推進室 主事 吉田 香乃 建設部建築営繕課 技術主査 阿部 哲也 建設部建築営繕課 技師 佐々木 瑶子 株式会社シアターワークショップ マネージャー 林 恵子 株式会社佐藤総合計画東北オフィス 代表 飯柴耕一 株式会社佐藤総合計画東北オフィス 上席主任 高橋 英雄
議 題	【協議事項】 (1) 基本構想（最終案）について (2) 基本計画（素案）について (3) その他
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

<p>会 議 資 料</p>	<p>【資料１】登米市（仮称）地域交流センター整備基本構想（案）</p> <p>【資料２】第４回有識者会議での主な意見への対応</p> <p>【資料３】登米市（仮称）地域交流センター整備基本計画（素案）</p>
----------------	---

(別紙)

発言者	発言趣旨
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今より「第5回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議」を開会いたします。</p> <p>本日は、及川勝一郎委員、橘正二委員、杉山孝俊委員、太齋京子委員から欠席の連絡を受けておりますので、ここでご報告いたします。</p> <p>続きまして、徳永会長よりご挨拶を頂戴します。</p> <p>【 会長挨拶 】</p>
事務局	<p>ここで、本日の会議の公開・非公開についての報告ですが、本日の審議案件は、「登米市審議会等の会議の公開に関する指針第3条」の規定による非公開議案には該当しませんので、傍聴者5人程度といたしまして、公開で行うこととなります。なお、ご発言の際は、お手数ですが事務局がお渡しするマイクをご使用いただきますようご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>「有識者会議設置要綱第5条」において、会長が議長になることが定められておりますので、ここからは徳永会長が議長となり議事を進めていただきます。</p> <p>徳永会長、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>「(1) 基本構想（最終案）について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(1) 基本構想（最終案）について</p> <p>【 事務局説明 ※資料1、2 】</p>
会 長	<p>説明が終わりました。</p> <p>内容についてお気付きの点等あれば、ご意見いただければと思います。</p>
委 員	<p>2点、確認をさせていただきます。まずは基本構想（素案）参考資料2のワークショップの報告について、基本構想をまとめるにあたって意見を聞いたのであれば基本構想にも資料として付けるべきだと思いましたので、この点をお聞きしたいと思います。それから、もう1点は22ページの整備方針について、各機能の4項目が21ページの基本方針4項目と同じ色の見出しで表記されているため、それぞれ対応しているように見えます。そうでないのであれば、それぞれ違う形の見出しにした方がよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民ワークショップを6月に開催しており、「交流ってなんだろう？まちとつながるには？」というテーマでいただいたご意見を基本構想へ反映しております。</p> <p>ワークショップの内容は参考資料として整理が必要と認識しておりますが、最終的なまとめ方として基本構想と基本計画を併せる形で策定を考えており、いただいたご意見については再度検討をさせていただきます。見出しの表現については、ご</p>

委 員	<p>指摘のとおりでありますので、表記方法を工夫してまいります。</p> <p>ご説明された内容は、業務上の話であって、内容としてはそれぞれ分かれるものだと思いますので、それぞれに報告書があった方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>まとめたことで混同される可能性があるものと考えられますので、一つの意見としてご検討いただければと思います。</p>
会 長	<p>仮に別々にまとめるのであれば、基本構想に係るワークショップの報告について、基本構想へ参考資料として掲載する形になると思うので、事務局で整理いただきたいと思います。同じくワークショップの関係で、14 ページに意見が記載されていますが、少し取って付けたような形になっていて、市民意見が結局どういったものかが少し分かりにくいと思います。また、意見を羅列しているように感じるため、総括的な記述を加えられないかご検討いただければと思います。</p>
副会長	<p>1 点目ですが、20 ページの下の方ですが、各機能を結ぶ表現として以前は「往来する」と表現されていましたが、今回追加された矢印では、図書館機能と市民交流機能、市民交流機能と行政・議会機能の往来は読み取れたのですが、行政・議会機能と図書館機能にある矢印も他と同じく往来を示しているのでしょうか。そうなのであれば、この位置では分かりにくいように感じます。</p> <p>それから、「であう・まじわる」という言葉は、3 つ機能が重なった部分を示しているのでしょうか。前はピンポイントに表記されていましたが、今回は少しずついたので、この点の整理が必要だと思います。</p> <p>それからもう 1 点、基本方針を前回から整理いただきましたが、基本方針 2 には、前回の会議で公共交通機関等の文言があったと思いますが今回削除されています。子どもや高齢者が利用する交通機関の必要性は、20 ページ、38 ページで整理したと捉えればよろしいでしょうか。サードプレイスの考え方からも、人がここに集まること繰り返し述べられておりますので、基盤となるものはきちんと示しておくべきではないかと思うので、この辺の見解をお願いします。</p>
事務局	<p>20 ページの概念図について、矢印の位置は意図があったものではなく、それぞれの機能が交わることで、目的を超えた様々な出会いや交わりが生まれることを表現したものです。これは施設配置へつながる部分となりますので、重なり合う部分が最も大事な視点であることを図の中で表現したものです。ご指摘の矢印の位置は、分かりやすくなるよう再度整理をさせていただきます。</p> <p>それから、公共交通の考え方については、大切な部分であると認識しています。ご指摘があったとおり、38 ページに公共交通の考え方を表現させていただいておりますので、基本方針 2 からは除いております。図について、受託事業者の方から補足をさせていただきます。</p>
受託事業者	<p>それぞれの機能が「であう・まじわる」と表現させていただいておりますが、真ん中に置いている矢印も行政・議会機能、図書館機能等と「であう・まじわる」部分に関係しますので、他の部分と共通の書き方となるように位置を修正します。</p> <p>「まじわる」の文言がポイントと考えており、現状では、市民の皆さんが各機能</p>

会 長	<p>を単独で利用されるケースが多いのかもしれませんが、各機能が重なり合ったり、交わったりすることで、新たな活動や交流が生まれることを目指しており、この形で記載をさせていただいております。</p>
委 員	<p>20 ページの図についてですが、市外から訪れる人を表している矢印が公民館機能と保健センター機能に入っているように見えるので、位置を調整いただいた方が良いでしょう。</p> <p>資料ありがとうございます。</p> <p>私も幾つか質問がありますが、まずは、先程の事務局からの回答に対して、質問を申し上げます。</p> <p>19 ページと 20 ページには図が 3 つありますが、これらは全て統一性があるものなのでしょうか。例えば、これは何度も申し上げておりますが、「登米のまちのしずく」という言葉は初めて聞くので、よく分からないと思っております。これが「(仮称) 地域交流センター」の新しい魅力になるものだとなれば、このしずくが波及することを、市全域と繋がり・連携する施設のイメージ図や 20 ページの図にかかっていて、3 つの図が 1 つとなるようなデザインができるはずなので、見てすぐ分かる、理解できるものにして欲しいと思っております。特にしずくが波紋となって新たな流れを作ることがどれほど良いことなのかを市民の皆さんに伝えていただければと思いますので、その辺を考えていただきたいと思っております。</p> <p>20 ページの図の修正については、先程の意見のとおりで、こんなに矢印を付けずとも分かるデザインを考えていただきたいと思っております。図の真ん中にある「であう・まじわる」は、3 つの機能が交わるものだと思っておりましたが、先程の回答からは、行政・議会機能と図書館機能が交わることを想定していて、矢印もそれに合わせて移動するとおっしゃっていますが違いますよね。3 つが交わるところにまちのしずくが落ちる形でしたり、もっと分かりやすいデザインにさせていただいて、見てワクワクするように修正いただきたいと思っております。</p> <p>また、先程、22 ページの整備方針とその前の基本方針が対応しているように見えるため、対応していないなら修正した方が良いと意見がありましたが、私は基本方針をどの機能が担うのか示した方が良いと考えています。例えば、観光をどの機能が担うのか記載されていないので分かりづらいと思いました。ここまでが事務局の回答に補足しての質問です。</p> <p>次に、私からの質問を 2 つ申し上げますが、1 つは簡単なものになります。</p> <p>まずはワークショップについて、14 ページに「市民意見の徴収」と記載していますが、これは非常に不愉快な言葉だと思います。言葉が強いですし、徴収という言葉は、普通、取り立てや税金を集める言葉になるので、市民のご意見でしたり、もう少し柔らかい言葉にさせていただきたいと思いました。この点については私の好みですので、これが正式な言葉であればそれで構いません。また、以前にワークショップに参加する人を固定するのは何故かと伺った際に、参加者の皆さんに交流センターの担い手になっていただきたいと説明をいただいております。そういったストーリーがここに表現されていない気がするので、この点についても伺いたいです。次に、23 ページには公民館や保健センターについて記載されていて、20 ページには、市民交流機能の部分に公民館機能と保健センター機能は迫町のもも含まれ</p>

事務局	<p>ると表現されています。ここから、迫公民館が市全体の公民館機能を持つことを今後、検討されると読み取ったので、この部分についても今後考えていただきたいと思っております。もう少し聞きたい点がありますが、今回はここまででお願いします。</p> <p>順番が前後しますが、公民館と保健センターの在り方について回答させていただきます。注釈にも記載しておりますが、現在の迫公民館と迫保健センターは、それぞれの機能として、しっかりと維持していくという考えがありますので、決して中央公民館のような機能を持たせる意図ではありません。今回、行政機能が集約することから、中央的な機能は教育部の生涯学習課で担っていくものとして整理しておりますので、迫公民館に中央公民館的な機能を持たせる方向性ではないことが分かるよう、表現の方法を工夫させていただきます。</p> <p>それから、14 ページの市民意見の聴取という部分については、表現を工夫させていただきます。なお、ワークショップへ沢山の市民、学生の皆さまにご参加をいただいております。次年度以降においても、基本設計や実施設計の段階で実施していきたいと考えております。可能であれば、今回ご参加いただいた方々が、本施設の管理や運営の担い手となっていただく考えも持っておりますし、ワークショップに参加いただいた方からそういった意欲的な意見もいただいているところでございます。ワークショップでも、今回の施設がまちづくりの拠点となるには、子ども達や20代～30代の若い皆さんがまちをつなぐきっかけになる、といったご意見をいただいております。今後の取組につながる仕組みづくりを、市民の皆さんと一緒に進めて参りたいと考えております。</p> <p>次に、基本方針と整備方針のつながりについてですが、前回の会議でも観光や情報発信はどの機能が担っていくのかご指摘をいただいております。基本方針で示した部分をどこで担うのか見えない形でしたので、表現の仕方を工夫し、重なり合う部分や連携する部分を示していかなければならないと認識しております。この部分の考え方については、基本計画の中でも整理する内容となりますので、それぞれのつながりを持たせるように整理してまいります。</p>
受託事業者	<p>アメーバ状の図と20ページの図に関連例が感じられないというご意見でしたが、内容としてはつながりを持たせて記載しております。19ページのしずくの図と交流のハブの図、20ページの円状の図において、それぞれで表現は異なりますが、大きいものから徐々に集約して小さな部分になっていくような、まち全体の話から施設の話に少しずつ集約していくイメージを持って表現をさせていただいております。</p>
委 員	<p>これを1つの図にまとめるのは少し難しいのではないかと考えております。表現がバラバラに見える部分を補足するような形で、すべての地域とつながることを表現できないでしょうか。図にどこまで詳細な記載をするか難しいところだと思っております。今の図でも地域と地域が位置的にどれだけ離れているかを示していないわけではないと思います。この図がマップなのであれば、抽象化しつつも市の中心は迫町にする形でも良いのではないのでしょうか。ですが、これを見る人がどういった概念で認識するかの話になると思いますので、抽象化することだけが作図のポ</p>

	<p>イントなるのかは注意すべき点にもなります。</p> <p>さらに言えば、これは非常に中央集権的な図であって、すべてを中心がコントロールをする図でもあります。例えば、地域と地域がつながってないのかという話で、つながりを表す矢印は表現されていません。そういった考えはなく、最初は付けていたのを見えにくいから取ったのだと思いますが、これを本当に無くして良いかルール決めなければ少し困るかもしれないと思います。とはいえ、今日が最終段階になりますのでどのように修正するのかは、先程申し上げたとおり少しマップに近づける方針にした方が、当初のコンセプトに立ち返るのではないかと思います。</p> <p>もう1点は20ページの図について、先程から話に出ていて、私も前にお話しをしたと思います。最終的にこれで良いのかは時間的にも仕方がないものだと思いますが、20ページ図の中心にある2～3つが重なり合っている部分は、3つの円が重なっている部分が整備方針①の市民交流機能になっていて、それ以外は②、③、④とそれぞれの領域の機能に結び付けられると思います。つまり、4つの領域しかないということです。これで良いか議論があるかもしれませんが、これまでの議論の末にまとめていくことにしたので、この4つの領域に事業に結びつけていく方が論理的ではないかと思います。その際に、「であう・まじわる」は矢印に付くのではなく、領域の部分すべてに交わることになります。概念図としては、そこが大きくなるように円を近づけて記載することになると思いますが、各機能の面積をどれだけコンパクトにできるかを現在、基本計画で考えていると思います。例えば、行政機関のオフィスの部分を重なる部分に近づけることは、将来的な人口減少によって面積が余分になるなら最初から少なくする、といった形の考えになると思います。どれだけ近づけた図を書くのか、それぞれの機能の面積をどれだけ担保するか議論も必要になります。結果として皆さんが指摘されたように非常に重要な図ですので、矢印の位置が散漫に見えてしまう部分をどうするか厳密に検討すべきというご指摘のとおりだと思います。公民館機能と保健センター機能に向けた矢印は結びつかない点もありますので、もう少し精度を上げていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>市全域とつながり連携する施設のイメージ図については、当該事業のスタートが立地適正化計画に基づく都市機能誘導施設の1つを具現化していくことから始まった経緯があります。各地域拠点を維持しながら中心とつながるコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方を19ページの図で表現をさせていただきました。</p> <p>また、地域間のつながりも立地適正化計画の中で示しており、本構想では、概念としてにぎわいの波及という部分を表現したものであります。</p>
会 長	<p>色々な意見をいただいたところですが、私なりに整理しますと、しずくの図は非常に概念的なソフト面を表現していて、下の図はそれを物理的な地図上に落とし込んだものだとイメージしておりました。そして20ページの図は、私の解釈になりますが、「であう・まじわる」ことによりしずくができるものだと感じました。</p> <p>それを全市的にも波及させるのであれば、しずくの絵で波紋の広がりを表現すると同時に地域的な波紋の意味合いも持たせなければならないと思っております。</p> <p>その際、20ページの図は、集まることしか表現されておらず、周りとの関係や波及する部分が少し見え難いため、それぞれ似ているが少しずつ違うものを表しているように感じるのではないかと思います。そもそも、しずくの図をもっと早い段階</p>

	<p>で出すことはできないかと思いましたが、改めて見るとこのタイミングしかないので、3つ目の図が近すぎるがゆえに混乱を招いているように感じる場所もあります。具体的にどのようにまとめるのか思いついてはおりませんので感想となります。</p>
副会長	<p>19 ページが18 ページの続きとなりますので、「(4) 施設整備の必要性和望まれる姿」の説明図ということですね。そういったつながりを示す記載がないのでバラバラに見えるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
会 長	<p>この19 ページと20 ページの表現の仕方については、再度工夫をしていただければと思います。</p>
委 員	<p>整理の一助となればと思いますが、会長がおっしゃった内容を具現化するには、20 ページの理念の文章の下にしずくの図を入れて、基本方針にマップの図を入れ、整備方針の各機能の説明の前に3つ目の図を入れられないかと思います。</p>
事務局	<p>当初は基本理念の下にしずくの図を配置しておりましたが、様々な検討を重ねた上で最終的にこの形となっております。この点、改めて整理をさせていただきます。</p>
会 長	<p>すぐに結論を出せるものではないと思いますが、最終的な策定までにその辺りの整理をしていただくという方向でご了解いただければと思います。</p>
委 員	<p>基本計画の方で質問しようと思っておりましたが、今のお話を受けて質問をさせていただきます。19 ページ下の図についてですが、これがハブなのであれば、スポークの部分と車輪の部分に見立てて、9つの円を線で結べないかと思います。先程の意見にあったように地域同士の交流も非常に大事なものであると考えますので、検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の中でも、それぞれの地域がつながっていくことを表現しておりますので、この点は立地適正化計画と整合性を取りつつ検討してまいります。</p>
会 長	<p>その他にご意見やご質問はいかがでしょうか。本日で基本構想の大筋はご了解いただきたいということなのですが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>方針の中には、海外を含めた市外との関わりも表現させていただいたのですが、委員の皆さまから見てこの辺りについてもご意見いただければと思います。</p>
委 員	<p>個人的には過剰に入ったように感じます。基本方針の1つで十分だと思っておりましたが、お気遣いに感謝したいと思います。</p> <p>先程、他の委員から発言があったように、基本方針については、我々のような民間企業では戦略や戦術といった方針を踏まえて、具体的にどうするかを方策という表現で説明していくものになります。この点についても検討いただければ見る方と</p>

	<p>しては分かりやすいと思います。</p> <p>また、基本方針と整備方針の関連性については、できれば関連付けて説明する書きぶりの方が良いと思います。できれば方策となる整備方針の部分でも、基本理念を方策で具体的に示していただいて、海外や地域以外の関係人口を増やしていくためにどのような設備が必要となるのか、基本計画の協議にて議論させていただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>最後のページには、基本構想については基本計画を踏まえつつ調整を図るといった記述があります。基本計画を並行して議論していく中で、若干の修正や基本計画を踏まえた形で書き直す部分が出てくる可能性はあると思いますが、大筋については今回もたくさんご意見をいただいたので、修正いただけるものだと思います。</p> <p>今回はこういった形で取りまとめさせていただければと思うのですが、よろしいでしょうか。</p> <p>【 異議なし 】</p>
会 長	<p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>「(2) 基本計画（素案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 基本計画（素案）について</p> <p>【 事務局説明 ※資料3 】</p>
会 長	<p>それでは、基本計画（素案）に対してご意見やご質問があればお願いします。</p>
委 員	<p>当初から気になっていたのが建設場所についてで、年超過確率 1/1000 の想定最大規模であります。最大 3.0 メートルの浸水が想定される場所に建設するのか疑問に思っております。私もこれまでの資料を調べたのですが、どこを探しても建設場所の比較検討が見つけれないのです。1 つは浸水しない場所に建てた場合の検討があっても良いのではないかと考えたのですが、この部分をスルーして検討したのだと思っておりました。それに加えて、軟弱地盤に建設するのであれば、工事費がどうしても高額になることが想定されます。これまで、たくさん検討をされてきたと思いますが、検討する順番が逆なのではないかと思います。私がどう言っても中江になると思いますが、中江地区を前提に洪水時に職員の方がどうやって災害対策本部へ行くのか不思議に思って読んでいたら、手漕ぎボートと記載がありました。</p> <p>確かにそれはそれで良いと思いますが、実際に職員の方が災害時に何人来るものか分かれば教えていただきたいと思います。さらに、避難所が併設されるということですので、収容人数も教えていただければと思います。いずれにしてもなかなか大変なものでないか心配しておりますので、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>なぜ建設場所が中江地区なのか、比較検討は行わなかったのかというご質問ですが、当該地域は、洪水ハザードマップの年超過確率 1/1000 が示す想定最大規模ですと 0.5～3.0m の浸水が想定される区域となっております。これまでの大雨の際に</p>

	<p>は、最大で約 30～40 c m 程度の浸水が北側の駐車場で確認されていますので、内水の被害はあったと認識しておりますが、すべて通行止めになったことは無かったと記憶しております。</p> <p>なぜそういった場所に建設かというご質問となりますが、周辺で浸水が想定されない場所となりますと、場所がどうしても高台のみと限定されることになります。事業を進めるにあたって、みやぎ県北幹線道路の佐沼 I C 付近とした場合の検討も行いましたが、そちらも同様に最大 3. 0m の浸水想定区域に指定されており、さらに軟弱地盤層が非常に長いというデータが出ております。そういった背景がある中で、今回の施設整備は、立地適正化計画に基づく中心市街地活性化を 1 つの大きな目標と掲げております。また、財政面からもこの場所とすること、立地適正化計画における誘導施設の具現化を図るものとして、国の補助金を利用できるという非常に大きなメリットがあることから、建設場所は当該地域と決定をさせていただいたところです。軟弱地盤であるという点については、次年度以降に地質調査等を実施し、しっかりとした構造計画となるように検討をしていく予定です。</p> <p>それから施設に勤務する職員の人数ですが、行政の本庁機能に勤務する職員を現時点では約 480 名と想定しております。避難所の収容人員については、これからの検討事項となりますが、現状の収容人数はしっかりと確保すべきものと認識しておりますし、基本構想でお示している避難誘導の在り方など、ソフト面も施設が完成するまでに検討していくものとなります。現在、県事業として長沼川の改修工事も行われており、排水機場も現在の 1. 6 倍以上の排水機能も有すると伺っております。市としても様々な排水対策事業に着手しておりますので、それらの整備効果とソフト対策を合わせることで、市民の皆様の安全と安心つなげられるよう進めてまいります。</p>
委 員	<p>地盤の良い場所との比較はしなかったと認識してよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>どうしても地盤の良い場所となれば、津山町や東和町、登米町などの山間部が考えられますが、施設整備の目的から、そういった立地で新たな施設を作ることは想定していないものとなります。</p>
委 員	<p>私は、（仮称）地域交流センターは作っても良いと思っていますが、防災センターとなる行政に関しては、どこかの山の上でも仕方ないと思っています。職員が災害時に出勤する際にも、その方が安心できるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>まずは間違いの訂正をお願いしたいと思います。1 つ目は 67 ページのグラフについてで、年齢と職業の数字が入れ替わっておりますので確認をお願いします。</p> <p>2 つ目は大事な問題になりまして、57 ページの（４）には「地域に暮らす人々や商工会議所」ありますが、登米市には商工会が 3 つありますが、商工会議所はありません。商工会と商工会議所は似て非なるものですので、修正をお願いします。</p> <p>次に 3 点、質問をさせていただきます。1 つ目は、施設面積は基本構想で市民交流機能・公民館機能・保健センター機能で 5, 600～6, 000 m²、図書館機能は 2, 500～3, 500 m²、行政機能・議会機能が 9, 100～10, 400. m²として示されておりました。基本計画では、行政機能・議会機能が基本構想より少ない 8, 600 m²となっていますが、</p>

	<p>なぜこの部分だけ縮小されたのかお伺いします。</p> <p>2つ目は、基本構想の38ページには公共交通の利便性向上ということで、前回から地域への波及効果等が追記されていますが、基本計画ではその辺について、あまり詳しく触れられていないと感じます。今後、詰めていくところかと思いますが、ぜひ検討を進めていただきたいと思います。これだけ時間をかけて作るのであれば、それなりのものができると思いますが、ただ建物があるだけの負の遺産とならないように、人が集まるための利便性が必要だと思いますので、そこも併せて進めていただきたいと思います。今朝の新聞記事には、鶴岡市と庄内交通で連携し、循環バスの再編によって大臣表彰を受けた記事が載っていました。1日当たりの便数を従来の4倍になる48本としたと記載されていて、どのように運用しているのか分かりませんが、利用者は5倍になったそうです。迫町以外ともつなげられなければ、この建物が目指す交流にならないのではないかと思います。</p> <p>それと、先程から話に出ている19ページ下の図については、地域同士が結ばれていないために違和感があるのではないかと思います。</p>
受託事業者	<p>行政・議会機能の面積については、基本計画の検討を進める中で、具体的な機能や事例から精査を進めた結果、会議室部分を市民交流機能に含ませる重ね使いが見込まれることなどにより、今回お示した面積となっております。重ね使いによる諸室の効率化を図るもので、単純に減らしたということではございません。</p>
事務局	<p>行政機能と隣接し、市民と共用できる会議室の設置を考えておりまして、その部分も市民交流機能と整理しております。その会議室分を行政機能面積から除いたことにより、基本計画に記載した面積とする考えになります。</p>
受託事業者	<p>35ページには1階から4階のブロックプランを記載しております。図の真ん中部分に交流と記載しているピンク色の部分がありまして、この部分を各階に持たせることで、ここを介して各機能がつながる構成を表現しております。この部分を行政機能に隣接させることで、市民交流機能の会議室等と重ね使いを行い、面積の集約を見込んでおります。</p>
委 員	<p>2点、お話をさせていただきます。まずは基本計画（案）10ページと19ページには基本計画を方向付けるため、交流にはこういったものがあるかと、それぞれの機能へアルファベットで振り分けがされています。1つの機能で交流できる場合もあれば、いくつかが交じり合うことにより新たな交流が生み出されるかもしれない、という考えもヒントになると思います。まとめるにあたっては、ワークショップのみを引き合いにすれば、ワークショップに参加された方の意見だけで作ったように感じますので、日常的に使っている職員の皆さんの意見も反映されるべきで、検討された経過は出していただいた方が良いでしょう。</p> <p>私は、個人的に整理の方法としてリーグ戦の星取表というか、三角行列のようなAとB、AとC、AとDといったコードのような形で、意見の中で結びつけられそうなものを整理しますと、例えばCには他と交流する意見がほとんど出ていませんでした。この方法が正しいのか分かりませんが、機能から面積を出さざるを得ない状況ですので、こういった形で機能を適切に並べてそこと何が結びつくのか整理す</p>

	<p>ることは、操作としてあるべきですし、面積をコンパクトにしつつ共用スペースを設けるヒントになると思います。この9、10 ページには、色々なスペースが羅列されていますが、急にアルファベットが出てきているので、論理的ではないように感じます。ここから作業を始めるのは分かりますが、意見をどうやって結びつけられそうなのか、この2つは機能として少し離れているから空間を離しても問題ないのではないか、といった形を想像できるようにした方が良いと思います。</p> <p>2点目は34 ページの配置計画についてで、まだ調整をしているものだと思いますが、長期のプロジェクトですのでイメージ段階から建物の顔が重要になります。</p> <p>設計段階で決めるものだと思いますが、こういった形で建物の顔をまちに向けるかは、色々な会議体で議論をした方が良いと思います。例えば、公園に面する東側に開けた計画としていますが、実際には駐車場のある西から出入りするので、市民は西が正面のように感じるようになります。これは南北に長いプランの宿命ですが、建物の顔を少し意識するだけで空間配置についても幅ができると思っていますので、早めに意思決定をされた方が良い設計につながるのではないかと思います。</p> <p>また、建物の顔と駐車場は関係しますので、現在のイメージからは、建物ができた後に駐車場に車を停めた人が西風に煽られながら建物に近づいていくことが想像できます。この土地で歴史的に風とどう向き合ってきたかを考えれば、建物を囲う以外に敷地自体をどうやってこしらえるか、設計に対して投げかけるものが欲しいと思います。他の自治体で聞いた話となりますが、コストはかかりますが解体可能な2層程度の職員駐車場があって、そこには豪雪を想定した緊急対応車両を停めていると聞きました。同じように解体可能な倉庫を緊急車両の駐車場や室外機、キュービクルの設置場所として使ったり、将来的に車がなくなれば解体して別のことに使うような、すごく大きな話となっていますが、計画段階ではそういった大きな方向を示唆した方が最終的に良い方向に動くと思います。建物の顔と空間の使い方については、今後、設計業者の方でまとめるものだと思いますが、気になっておりましたのでお話をさせていただきました。</p> <p>受託事業者</p> <p>アプローチについては、市と協議を行っており、西側の道路が主要幹線であると伺いましたので、日常的な使い方よりは通過動線とする方向で検討を進めております。また、現在、南側からのアプローチが多いとお話を受けておりましたので、今回の南北に抜ける道から西側の主要幹線に出ていくルートとして整理させていただき、市民が南側からアプローチすることを想定して作成しております。建物の顔については、西に向けて全面的に見せた方が良いのか、東側とのつながりを重視するのはデザインの問題もありますので、今後の検討事項とさせていただきます。</p> <p>委 員</p> <p>これは計画段階で決めることではありませんので、設計業者にお聞きすることで、委員の皆さんにも議論されればと思い話題に上げさせていただきました。</p> <p>今の話に加えての内容となりますが、イメージ図を見て私は駐車場と公園と建物がそれぞれ隔てられているように感じます。このイメージは皆さんの本意ではないと推測できますので、公園と施設と駐車場が三角形のような関係性を持つべきだと思います。それが日常的な動線や防災の観点にも絡んできますし、はっとフェスティバルが駐車場にはみ出してくるような連動もあるかもしれません。駐車場と公園も関係していることも少し意識された方が良いのかもしいないと思います。</p>
--	--

会 長	<p>先程、歩いてのアクセスと車でアクセスの話が出ましたが、もう一つ主要なアクセスとして公共交通があります。建物の表裏の話をした際、公共交通が脇になるような気がしましたのでこの点も含めて、ここに来る人たちだけではなく、そこからにじみ出すことも意図しているはずですので、そのにじみ出しはどこで表現するのか、見せる方も重要になるものだと思いますので、この点をもう少し検討いただければと思います。</p>
受託事業者	<p>公共交通については、ご指摘のとおりで、整理する必要があると認識しております。現在、基本計画段階であるため、設計の視点まで深く踏み込んで良いものか難しい部分もありますが、バスロータリーは今の使い方を踏襲すれば、北側や西側に出すことは難しいと考えておりましたので、南側から出入りすることを基本的な考え方として、最短距離でバスロータリーと付随するバスの待合を設けることが考えられます。もう少し議論を深める必要がありますので、その内容を含め、検討を進めてまいります。</p>
事務局	<p>現在、市では公共交通計画の見直しを行っておりますので、そちらと本計画がどのように融合ができるのか検討を行ってまいります。</p>
委 員	<p>基本計画は調整中の部分が多く、今後まとめていくのも大変だと思いますが、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>私からは、意見というより要望となります。基本計画でも市民意見を取り入れながら進めるということで、参考資料にはアンケートやワークショップの報告が掲載されています。私はその中でも、市民アンケートの最後にあるQ13 その他の自由記述がとても良い部分だと思って見ていました。こちらについては、主なものをまとめて記載されているものだと思います。なぜこのような話をしているのかという、何人かの方からアンケートにこれを書いたと話を書きました。例えばですが、登米市は石ノ森章太郎先生の地元ですので、仮面ライダー等を活用して魅力をPRする場所にして世界中から人が来るようにすることや、市民ワークショップではボランティアの拠点にするという意見も記載されておりましたので、少数意見であったために記載されていないかもしれませんが、とても面白いアイディアもあると思うので、少数意見も加味していただければと思います。</p> <p>合併してからここまで大きなプロジェクトは初めてで、今後の登米市のシンボルとなるものだと思いますので、沢山の意見を大事にしていきたいという要望でございます。</p>
事務局	<p>市民アンケートについては、多くの皆様から特に自由記載欄にはたくさんの回答をいただいたところであります。お話のあった少数のご意見についても、庁内の検討委員会等を含めて内容を示しつつ、今後の検討の参考としてまいります。</p>
副会長	<p>ようやく具体的な形が見えてきて嬉しく思っているところですが、幾つか考えを述べさせていただきます。</p> <p>1つ目は、会議室等を重ね使いすることで集約していくというお話でしたが、図</p>

	<p>書館や公民館にはどうしても専用のスペースが必要となるものです。例えば公民館は現状の施設利用が多く、部屋が足りないと伺っておりました。それを改善するには、どの程度の部屋数が必要となるか捉えなればなりません。図書館については、ここに示されているのは今の図書館の在り方であって、交流と結びつけるには、図書館でボランティアを育成したり、様々な企画を行うことが必要となりますので、そのための部屋も当然必要となりますが、そういった部屋の記載がされていません。恐らく先程の重ね使いという話になると思いますが、必要な部分を見極めなければ、建物を建てた後に部屋が予約一杯で使えない可能性もありますので、この点は留意いただきたいと思います。</p> <p>先程の回答にもありましたが、人々が集まって様々な活動を行うには、プロデュースも重要となります。現在、公民館では青少年が集まらないことに困っています。ですが、もしかしたらここには青少年が集まるかもしれないので、青少年をターゲットとした活動を計画できるスタッフが必要になると思います。地域に向けた公民館の在り方については述べられていて、それ以外は教育部が担当となるという話でしたが、プロデュースが無ければにぎわいや交流は生まれませんと思いますので、今後の計画段階でその辺も盛り込んでいただければと思います。</p> <p>図書館は、現在、市民等の代表者で構成する図書館機能検討委員会が開催されており、そちらのご意見を諸室や規模へどのように活かしていくのか今後調整をしていくこととなります。公民館の在り方については、お話のとおりだと思います。</p> <p>前回の会議でも、市民活動の場所はあれば良いのではなく、働きかけが必要だのご意見をいただいておりますので、そういった考えを持ちながら施設の管理や運営の手法等につなげていければと思っております。この部分については、重要な課題だと捉えておりますので、具体的な管理運営等も十分に議論をしながら、検討してまいります。</p> <p>基本方針へ海外等の地域以外の視点を入れていただいたこと、改めて感謝を申し上げます。先程少し申し上げましたが、方針に対する具体的な姿や方策が計画から見えづらいと思いますので、基本理念や基本方針を実現させる施設だと納得できる形にしていきたいと思います。例えば、海外に対する視点として、多言語表示や宗教に関する問題もありますので、その辺りも考慮していただければと思います。</p> <p>それから、野外広場とありますが、この場所だけでなく都市公園と一体的に使えるようなスペースであればと思います。はっとフェスティバル等のイベントを公園で行っておりますので、メインステージや下屋があればイベント利用や防災時にも良いと思います。私は、はっとフェスティバルで理事長をさせていただいたこともあります。あの祭りのモデルは山形県天童市の鍋まつりでした。それは雪の降る2月に行われるイベントでして、会場は吹き抜けの屋根のある場所を中心として、たくさんの人が集まります。雪の降る寒い中に、多くのおいしい鍋を食べに並んでいる姿がテレビで公開されています。そういった形で価値のある情報になることもありますので、野外イベントステージについても考えていただければと思います。</p> <p>次に予算についてですが、約147億円という金額を当初から示されています。</p>
事務局	
委 員	

<p>受託事業者</p>	<p>説明にもありましたが、物価が高騰している状況でこの予算で進んで良いものか、この予算に収まる計画になっているのか不安に思います。民間企業が設備を導入する際には、大体 30%は余裕を持たせた資金を準備いたしますので、そういったことを想定されているのかお伺いしたいと思います。</p> <p>最後となりますが、先日には市長の新聞記事が出ておりました。そこで言われている登米らしさというか、シビックプライドのイメージが具体的に見えてきた中で、どのような所でそれを押し出すのか受託事業者の方にもお伺いできればと思います。</p> <p>建築費については、上昇し続けており、予測が難しい状況にあります。現在、お示している建設費は多少余裕のある数値となっております。ただし、現在の予測から大幅に変動する可能性もありますので、今後も状況を市へご相談をさせていただき、ご提示できればと考えております。</p> <p>屋外広場については、建物構成の考え方として掲載をしております。体育館と接続する場所に屋外広場を配置し、いつでも使えるよう屋根を設けることで、建物の交流空間と一体的に使用できることや、イベントでの利用が考えられます。</p> <p>先日開催された「はっとフェスティバル」に伺い、ステージが屋内でも使えれば可能性が広がると思いましたが、体育館のロビーで休まれている方もおりましたので、もう少し座れる場所を作ればより良い空間になるのではないかと感じております。そういった点も含めて検討を進めてまいりたいと思います。</p> <p>シビックプライドや登米らしさについては、この計画に関わらせていただいてから約 1 年が経とうとしていて、本会議以外にも庁内の会議やワークショップ等で何度も登米市に足を運ばせていただいております。私は東京から来ているのですが、仙台から車で来る際に自然を見るとすごく安心します。そこからも、登米市の魅力は自然が多いことと、食べ物がおいしいところだと思っています。田んぼの風景が春夏秋冬と変わっていくなかで、そういった風景と食の文化は深くつながっており登米らしさとなると思っています。それに加えて、人の温かさ私は登米らしさだと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>その部分については市長も常々、豊かな自然環境は登米市の誇れる部分だと話しております。特に山の緑や田園風景の黄金色、豊かな水辺の青など、そういったイメージでこの施設を表現したいと話しております。先般の新聞記事では、木造や噴水という話もありましたが、様々な観点から登米市の良さを表せる施設にしていければと考えております。</p> <p>事業費についてですが、物価高騰もありますが、こういった構造形式にするかで変わっていくものと考えております。何よりもイニシャルだけでなく、ライフサイクルコストが将来的に大きく関わりますので、トータルバランスを考慮して事業費の精査を行ってまいります。</p>
<p>委 員</p>	<p>シビックプライドのご説明をいただきましたのではなく、それを建物にどう表現するのかという質問でしたので、建物を見てお話されたシビックプライドが分かるデザインにしていきたいと思います。そして、それを表すものとしてシンボルも考えられると思います。例えば、シンガポールになるマーライオンは観光の中</p>

会 長	<p>心としてパンフレット中心になっていますが、実際はとても小さいサイズのもので す。そういった形で、金をかけずとも地域の象徴的なものは作れるのではないかと 思っております。登米市は有名な建築家さんとも縁がありますので、建築費にお金 かけずにデザインにお金をかけていただいて、モニュメント的なものも考えていた だきたいと思いました。</p> <p>時間が超過しましたが、最後に私からお話をさせていただきます。建物の基本計 画としては当然ですが、面積や機能が中心に書かれていて、基本構想で書かれてい る重ね使いや交流によって何が生まれるのか、どのような使い方をすれば基本構想 で示した内容が生まれるのかがあまり書かれていないように感じます。</p> <p>どのように情報発信するのか、施設に来なくても交流するにはどうすれば良いの かということも今後検討していかなければならないと思います。ただし、それはこ の基本計画というよりは、並行して別に考えなければならないものだと思います。</p> <p>ただ施設が建てても想定する使い方ができることにはならないと思いますので、 完成までにしっかりと使い方と活用方法についても練り上げていただければと思い ます。</p> <p>なかなか今後の作業も大変だと思いますが、今日の意見も踏まえつつ基本計画を 進めていただければと思います。</p> <p>それでは、本日の協議はここまでとさせていただきますので、進行を事務局に戻 します。</p>
事務局	<p>徳永会長、長時間にわたっての議事の進行ありがとうございました。</p> <p>次に、その他といたしまして事務局の方からは特にありませんが、皆様からござ いますか。</p> <p>【 特になし 】</p>
事務局	<p>それでは、閉会にあたりまして高橋副会長からごあいさつをお願いいたします。</p> <p>【高橋副会長 挨拶】</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第5回仮称地域交流センター整備有識者会議を閉会させてい ただきます。次回の会議は1月14日の開催を予定しておりますので、何卒よろしく 願い申し上げます。</p> <p>大変お疲れ様でございました。</p> <p style="text-align: right;">正午閉会</p>